

「【開館50周年記念】山種コレクション名品選Ⅰ 江戸絵画への視線 ―岩佐又兵衛から江戸琳派へ―」

御舟作品の白眉《名樹散椿》（重要文化財）からネーミングされ、ロゴにも御舟の文字を使用した「Cafe椿」は、美術鑑賞の余韻のなかで、お茶とスイーツ、ランチが楽しめるカフェ。季節や開催中の展覧会にちなんだオリジナルメニューをご用意しています。

特に和菓子は、青山の老舗菓匠「菊家」に特別にオーダーした「Cafe椿」オリジナルです。また、素材と季節感にこだわった、女性にやさしいランチメニューもおすすめです。テーブル、チェア、カウンターなどは、イタリア・カッシーナ・イクスシー社に

特注し、美術館ロビーでおしゃれな佇まいを見せています。ガラス越しにまるでオープンカフェのように季節のうつろいがよく眺められる、42席の静かなスペース。お気軽にお立ち寄りください。

波と鶴

Nami-to-Tsuru

波涛の上を飛ぶ鶴の群れ。きらびやかにデザインした宗達の料紙下絵をイメージしたきんとんです。あんは、しっとりとした味わいの黒糖風味です。（特製大島あん）



俵屋宗達 本阿弥光悦
《四季草花下絵和歌短冊帖》のうち「千羽鶴」



おどり姿

Odori-Sugata

輪になって楽しげに踊る人々の姿を生き活きと描いた「輪踊り図」。錦玉に色とりどりの練切りと扇を入れ、賑やかな雰囲気仕上げました。（錦玉羹、胡麻入り練切り、扇は羊羹と淡雪羹）



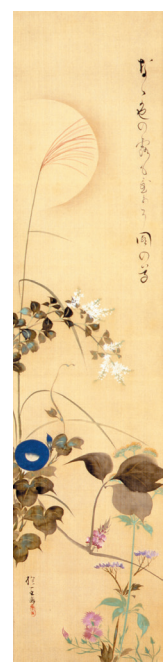
作者不詳
《輪踊り図》



涼風

Suzukaze

しっとりとした練切りを寒天で包んで、露に濡れた朝顔と盛夏の朝の空気を表現しました。菊家特製のこしあんは控えめな甘さです。（こしあん）



酒井抱一
《秋草図》



華の王

Hana-no-Ō

数ある花のなかで王とも称される牡丹。絢爛と咲き誇るあでやかな牡丹の姿をモチーフにしました。上品な甘さのひと品です。（こしあん）



鈴木其一
《牡丹図》



夏の日

Natsu-no-Hi

日差しをいっぱい浴びて咲く向日葵を和菓子で表現しました。中の柚子あんは鮮やかなグリーン。色のコントラストもお楽しみください。（柚子あん）



鈴木其一
《四季花鳥図》(右隻)



※作品はすべて山種美術館蔵

[その他のメニュー]

- ◎ コーヒー（京都・スマート珈琲） ￥650 ◎ 抹茶 ￥750
- ◎ 丸子紅茶 ￥650 ◎ 今月のお茶 ￥650
- ◎ お茶セット ￥1,000 ◎ お抹茶セット ￥1,100
- ◎ ケーキセット ￥1,200
- ◎ 季節のにゅう麺 ￥1,250 など

和菓子のテイクアウト承ります 1個 ￥510